「大工さんも大へん！」

～地いきに合わせた家づくり～

小みや小学校3年2組

まつおか直



目次

1. 石井究のきっかけ……3
2. 石井究の前に……4
3. 調べ方……6
4. 石井究
   (1) 日本のさむい土地の家づくり…8
   (2) 日本のあたたかい土地の家づくり……16
   (3) 日本の高い土地の家づくり…23
   (4) 日本のひくい土地の家づくり…27
5. 石井究から考えたこと
   (1) さむい土地(北海道)とあたたかい土地(おきなわけん)の家づくりについて(石井究前の予想と実さいのひかく)……34
   (2) 高い土地とひくい土地の家づくりについて……37
   (3) わたしの家……39
6. まとめと感想……43

さん考・引用文けんリスト……45
さん考Webページ……46
〈この研究で調べた地いき〉……47

1. 研究のきっかけ

わたしは大工になりたい。
一年生の時から、家づくりにかかわる仕事について調べてきた。

ある日、「せかいあちこちゆかいな家めぐり」という本を読んで、せかいにもいろいろな家があることを知った。そして、日本の中でも、土地いきによって家のたて方がちがうということを家ぞくから聞き、もっとくわしく知りたくなったので、今回の研究で調べてみることにする。



2.研究の前に

日本は南北に長いしま国で、北の地方はさむく、南の地方はあたたかい。

そこで、北の地方は北海道、南の地方はおきなわけんの家のとくちょうを予想してみることにした。

〈北海道の家〉

(夏) あつい日が少ない。台風が少ない。

(冬) とてもさむい。雪がたくさんつもる。



- 木ぞうの家
- 屋根は、雪をすべりやすくするため、屋根の先はとがっている。
- かべは、外のつめたい空気が家の中に入りにくくするため、木のかべが二重になっている。

・ゆかは、つもった雪がしみてこないようにするため、コンクリートのゆかがぶあつくなっている。
・まどは、少なく小さい。

〈おきなわけんの家〉

(夏) とてもあつい。台風が何度もくる。

(冬) さむい日が少ない。雪はふらない。



・木ぞうの家
・屋根は、風に弱くするため、屋根の角度はなだらかで、地面近くまである。
・かべは、風に強くするため、木のかべが三重になっている。
・ゆかは、あつい地面からはなしてすずしくするため、いたが二重になっている。
・まどは、大きいものがたくさんある。

3. 調べ方

① 本で調べる。

図書館で、北海道（さむい地方）と、おきなわけん（あたたかい地方）の家のとくちょうがかいてある本をさがしてもらう。その本を読んで、わかったことをまとめる。

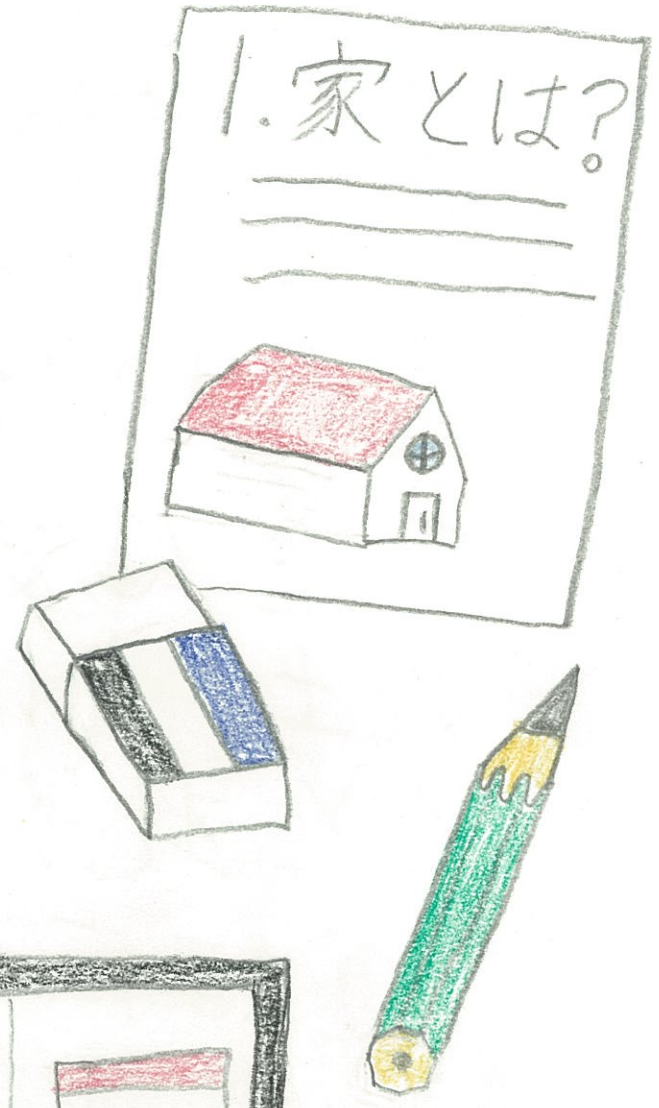
② インターネットで調べる

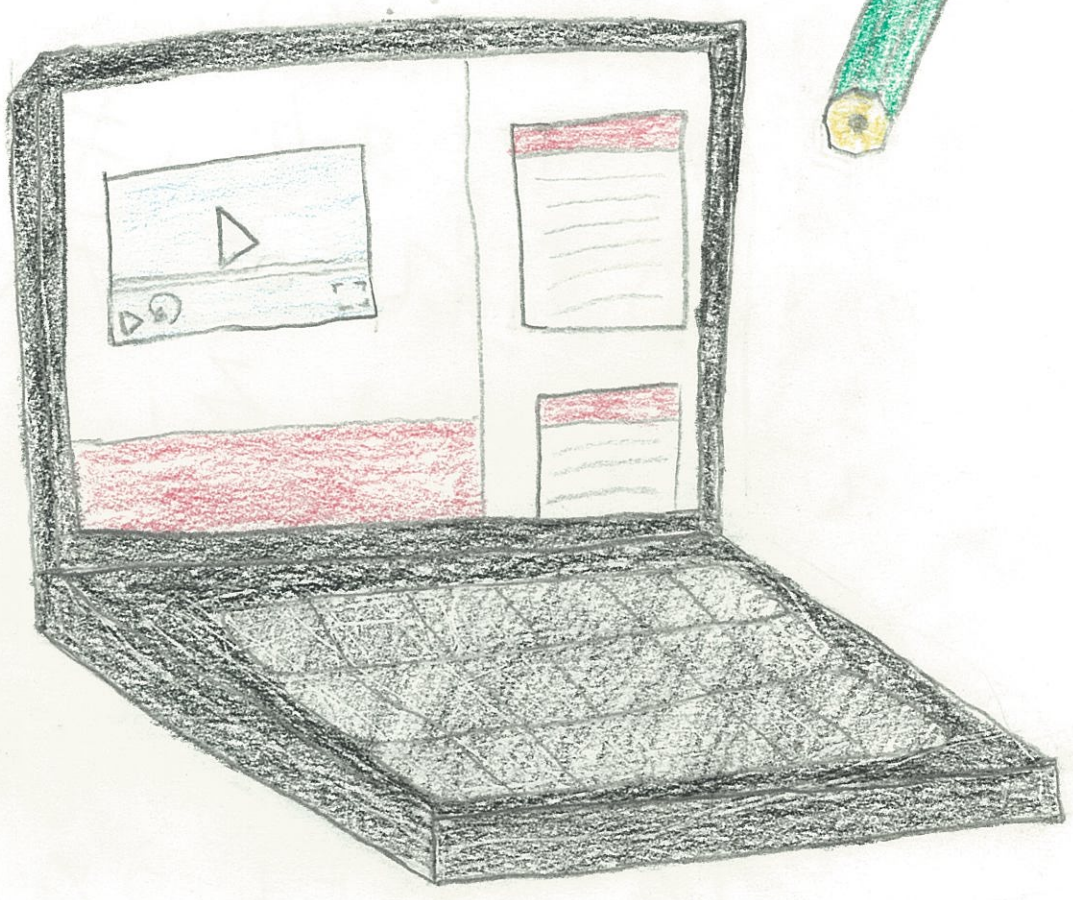
インターネットで、北海道とおきなわけんの家を見てみる。

※ 図書館で本をさがしてもらったけっか、さむい土地とあたたかい土地の他に、高い土地、ひくい土地の家がのった本もしょうかいしてもらった。そ

の内ようも本とインターネットで
調べることにした。







4.研究

(1) 日本のさむい土地の家づくり

(1)－1. 北海道の家の工ふう

(ア) 北海道について

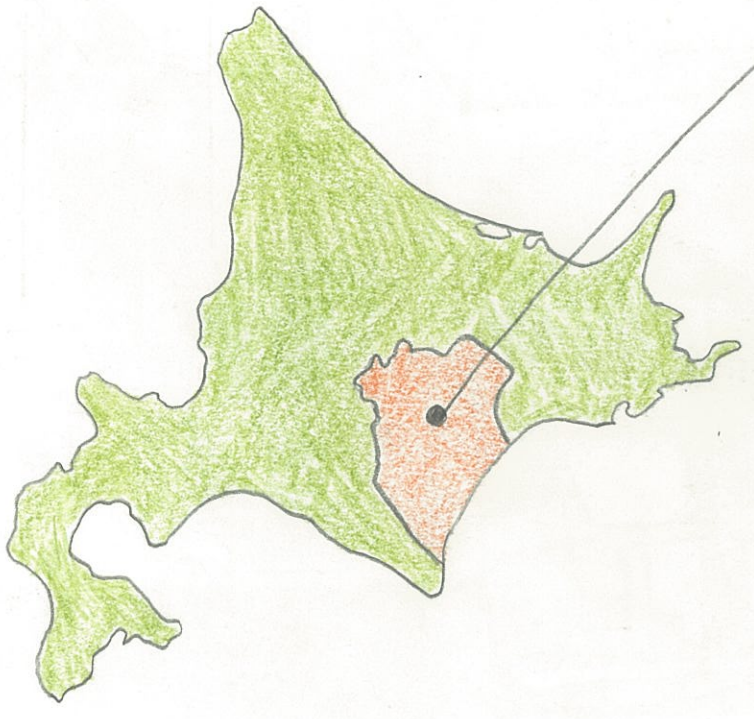
北海道はさむい土地(かんれい地)の代表である。年平きん気温が10℃い下になる土地は、山地や高原をのぞくと北海道だけだ。北海道は広いので、気温やこう雪りょうには地いきでさがあるがいずれも冬が長く、夏がみじかい。そして、つゆがない。

〈北海道と九州地方の四季〉

春	一年で日照時間がもっとも長い。気温の上しょうとともに強風がふく。さくらの開花は5月

	上じゅんごろ。
夏	平きん気温は20℃くらい。さい高気温が30℃をこえる日もあるが、一日の気温さが大きい。
秋	秋のおとずれが早い。9月には、朝夕がはださむくなる。10月が紅葉の見ごろで、山ではは つ雪がふりはじめる。
冬	西高東ていの気あつはいちになると晴天の日が続き、さむさはとてもきびしくなる。

〈北海道十かち地方〉



十かち地方

おび広市と、16町2村でこうせいされている。

(イ) 北海道（十かち地方）の家のエふう

冬に氷点下の日が続く北海道の家のだんぼうは、部屋ごとではなく、家全体をあたためるのがき本である。しかも、24時間だんぼうし続けていて、ろう下もトイレもあたたかい。

〈十かち地方の家〉



① 屋根

かるいトタン屋根が多く、雪がすべりやすい角度(への字が多い)にしている。他に、全体が同じ方こうにかたむいている屋根や、雪をとかすしくみのある平らなかたむいていない屋根もある。

②だんねつざい

気みつせいが高く、だんぼうこうりつがよくなる。

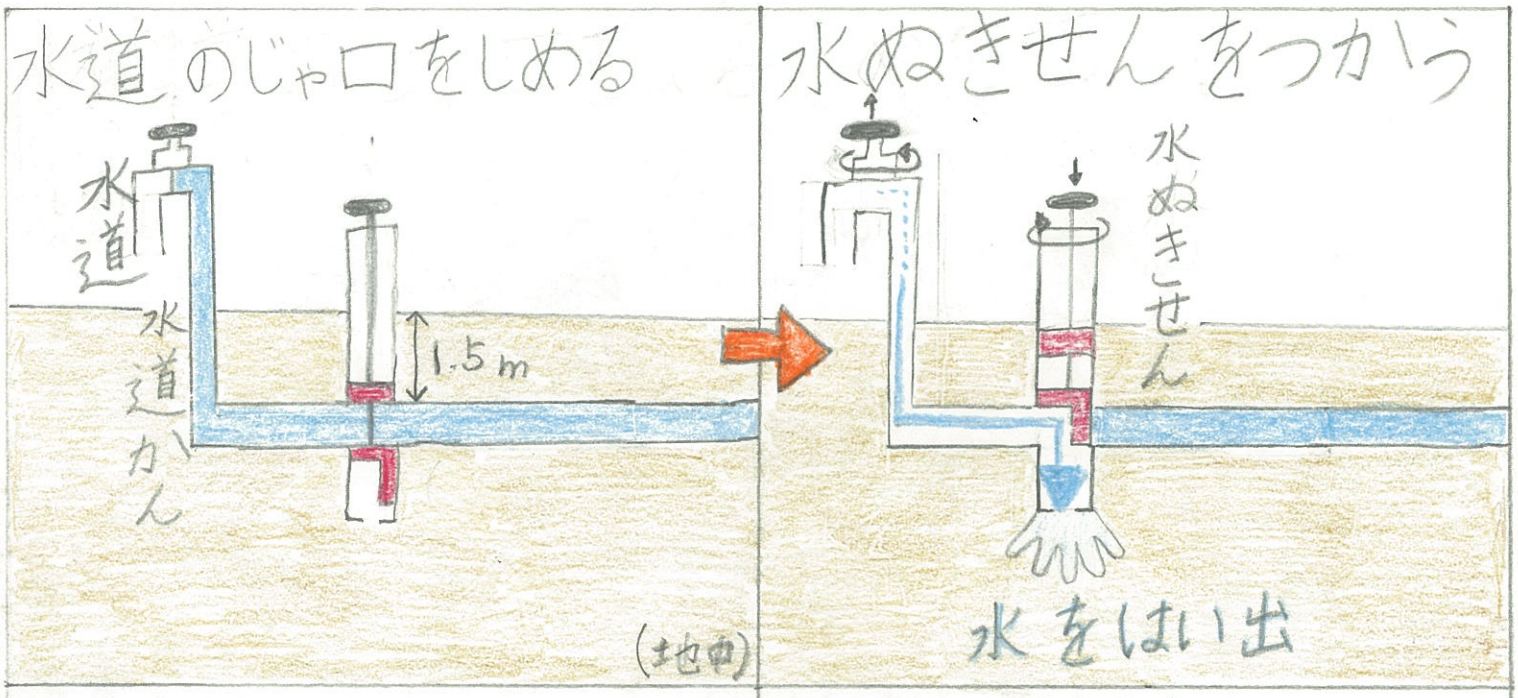
③げんかんフード

げんかんをおおう吉部屋。二重のげんかんになっていて、れい気が家に入るのをふせぐ。

④ふとう水ぬきせん

水道かんの水をすてることで、とうけつによって水道かんがはれつすることをふせぐしくみ。

(P.12の図でせつ明)



水道のじゃ口をしめても、水道かんには水がのこっているので水がこおって水道かんがはれつするおそれがある。

水ぬきせんをしめてじゃ口をあけると、水道かんの水が土地中にはい出される。中に水がないので水道かんははれつしない。

↑〈水ぬきせんとそのしくみ〉

⑤パネルヒーター（だんぼう）

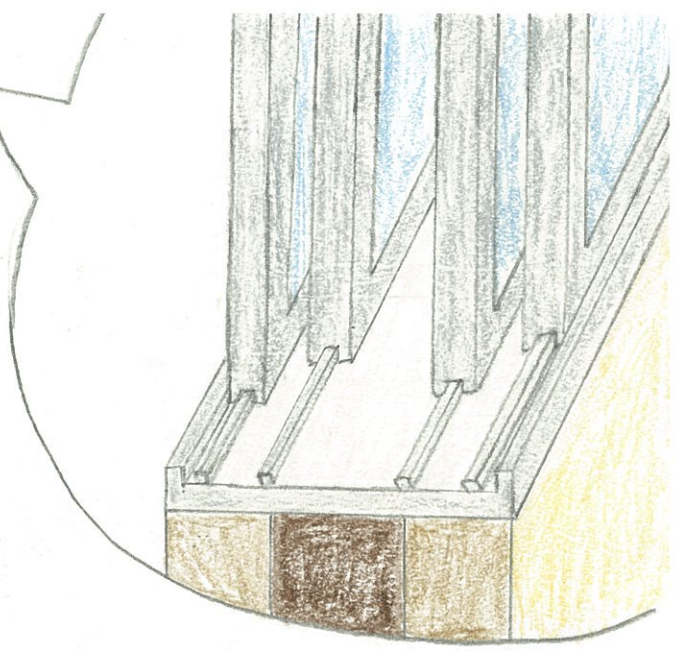
まどの近くにパネルヒーターというだんぼうがあり、24時間ずっと家をあたためている。

⑥大がたとうゆタンク

きゅうとう用とだんぼう用のボイラーにとうゆをおくるタンク。およそ500Lの大きさ。

⑦二重サッシ

外のれい気をさえぎり、部屋のだん気をにがしにくくしたニ重サッシ。三重サッシの家もある。



(ウ)北海道の家のまわりのエふう

・ぼう風林木・ぼう風さく

道ろの近くに木を木直えて(さくを立てて)、弓虽風で人や車の通行がさまたげられないようにする。

・ロードヒーティング

道ろの下に電ねつ線やパイプをうめ、地面の温度を上げて雪をとかす。

・すなばこ

道ろわきにせっちされていて、歩行者の転とうや自動車のスリップぼう止用のすなが入っている。

・流雪こう

道ろわきにもうけられたみぞ。川からひいた水が流れて、そこへ集めた雪をすてることができる。

(1)-2. その他のさむい土地の家の工ふう

冬になると、北海道の他にもかく地で雪がふる。日本では、海岸部にくらべて山間部に大りょうに雪がふることがある。日本海がわに発生した雪雲が、高い山にぶつかることで大りょうの雪をふらせるのだ。

大りょうに雪がふる地いきで、国がしていしたところを「ごう雪地たい」、さらに雪が多いところを「とくべつごう雪地たい」という。ごう雪地たいは、国土のやく半分にもおよび、主に北海道から東北、北りく地方の日本海がわに分ぷしている。

ごう雪地たいでは、長い冬の間、雪によるこいがいをふせぎ、安心・安全にくらすためにさまざまな工ふうがなされてきた。北海道と同じ工ふういタトのものを記す。

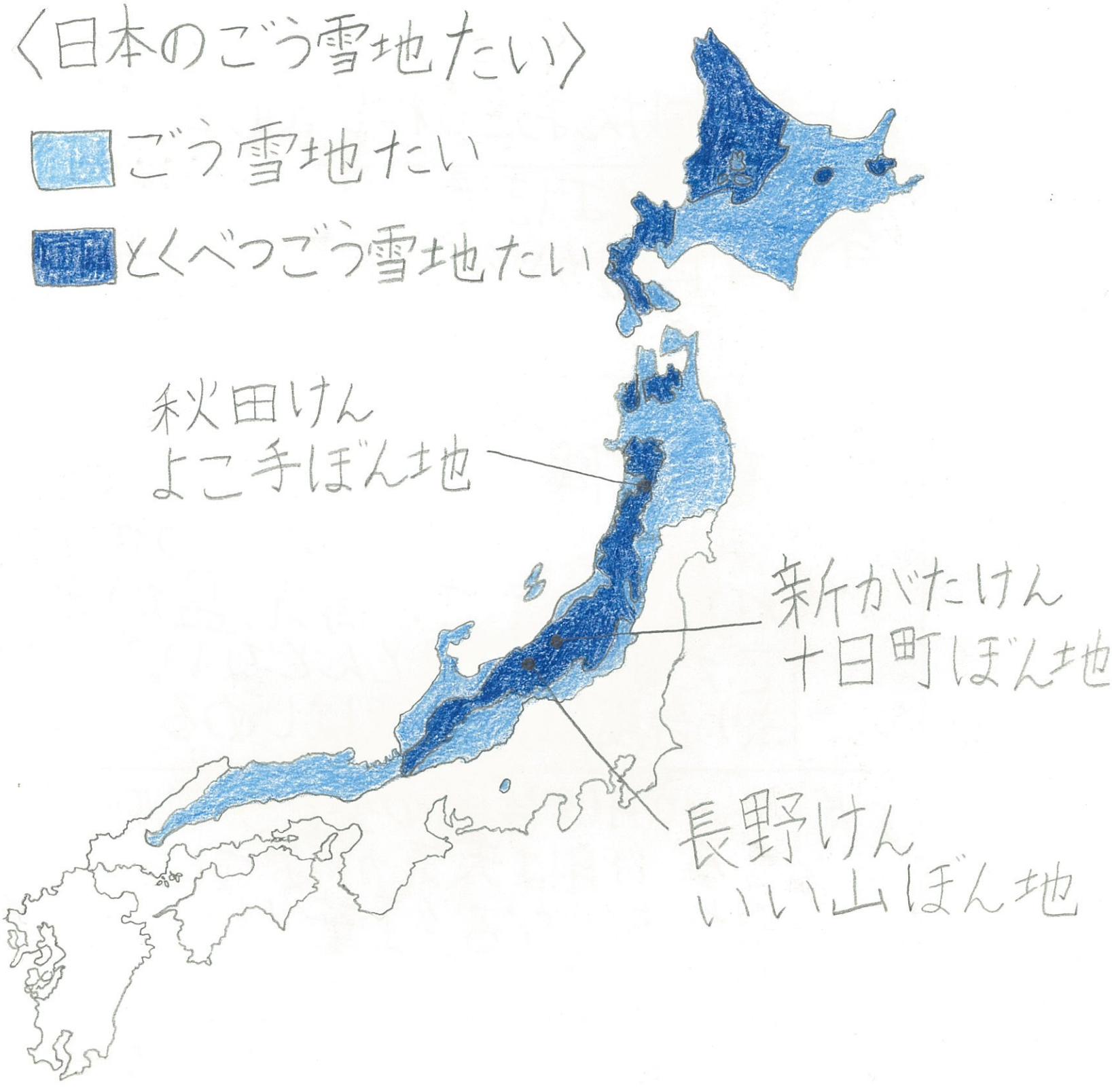
- 屋根ゆう雪せつび(秋田けんよこ手ぼん地)
  地下水をポンプで屋根にくみあげ、パイプから水を流して雪をとかす。
- 雪がこい(新がたけん十日町ぼん地)
  屋根からおちてきたり、雪かきでおろしたりする雪の重みでまどがわれないように、たて物のまわりをいたなどでかこう工ふう
- 消雪パイプ(新がたけん十日町ぼん地)
  道ろにうめこまれたパイプから、ノズルを

通して地下水がふき出し、雪をとかして道ろが氷るのをふせぐ。さん水は、気温計とせき雪りょうセンターによって自重力で行われる。

・むさん水ゆう雪(長野けんいいい山ぼん地)

道ろの下のパイプに土地下水をじゅんかんさせて、その温度で道ろをあたため雪をとかすしくみ。歩道にもつかえる。

〈日本のごう雪地たい〉



(2)日本のあたたかい土地の家づくり

(2)−1.おきなわけんの家のエふう

(ア)おきなわけんについて

おきなわけんは、日本のもっとも南西にあるけんである。年間を通して気温が高く、平きん気温はほぼ23℃をこえる。夏は長く冬はみじかく、きせつのへん化があまりない。

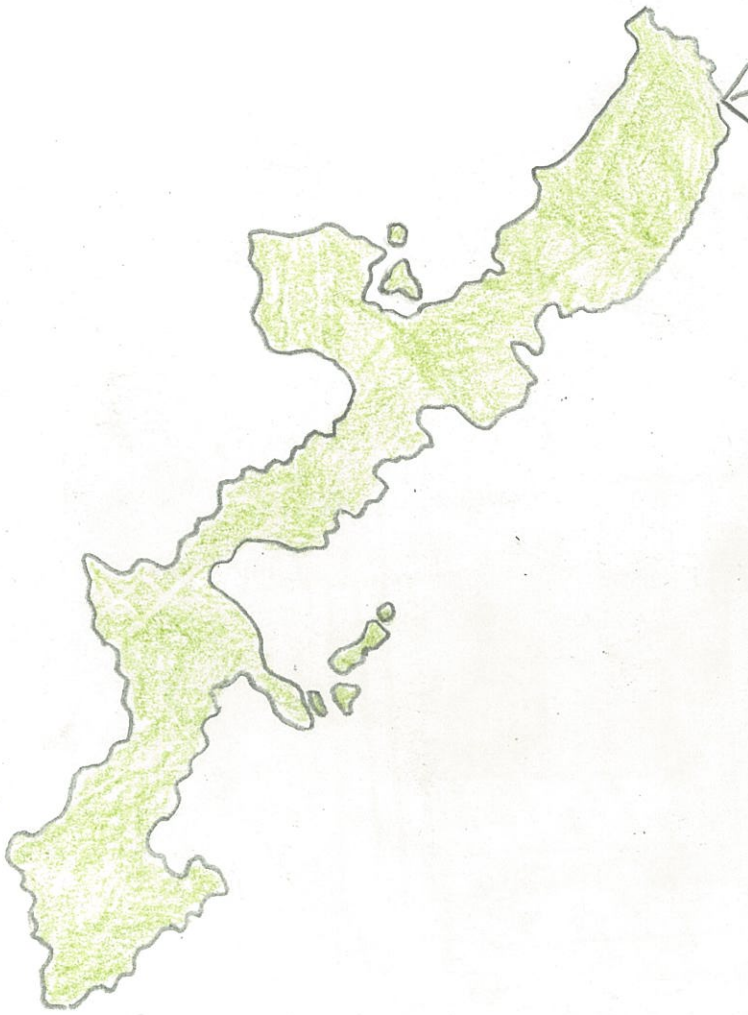
〈おきなわけんおきなわじまの四季〉

春	3月には、ぽかぽか陽気が続き、海開きが行われる。4月には、しょ夏の陽気になる。
夏	つゆ(5〜6月)は、たくさん雨がふる。夏は、太陽がてりつけてあつくなるが、海風によって気温の上しょうがおさえられているので、さい高気温が35℃をこえることはほとんどない。スコール(雨)がふり、台風がやってきはじめる。
秋	9〜10月は台風の季せつで、雨がたくさんふる。11月は天気が安ていして、晴れの日が多くなる。紅葉が見られるようなさむさにはならない。
冬	冬でも平きん気温がやく16℃で、10℃い

	下になる日はほとんどない。

おきなわではつゆや台風の時きにたくさんの雨がふるが多くの地いきの土地が水をとおしやすい石かいがんで形せいされているため、雨が地表にとどまりにくい。また、それぞれのしまの面せきがせまく、川が少なくみじかいため、雨水はいっきに海に流れこんでしまう。こうした気こう風土のため、100日い上も雨らしい雨がふらないと、たちまち水がふ足し、きゅう水をせいげんされる。

〈おきなわけんおきなわじま〉



←おきなわじま
(おきなわ本とう)

おきなわけんは、
160のしまがつらなっ
たけん。人がすんで
いるしまは47とう！

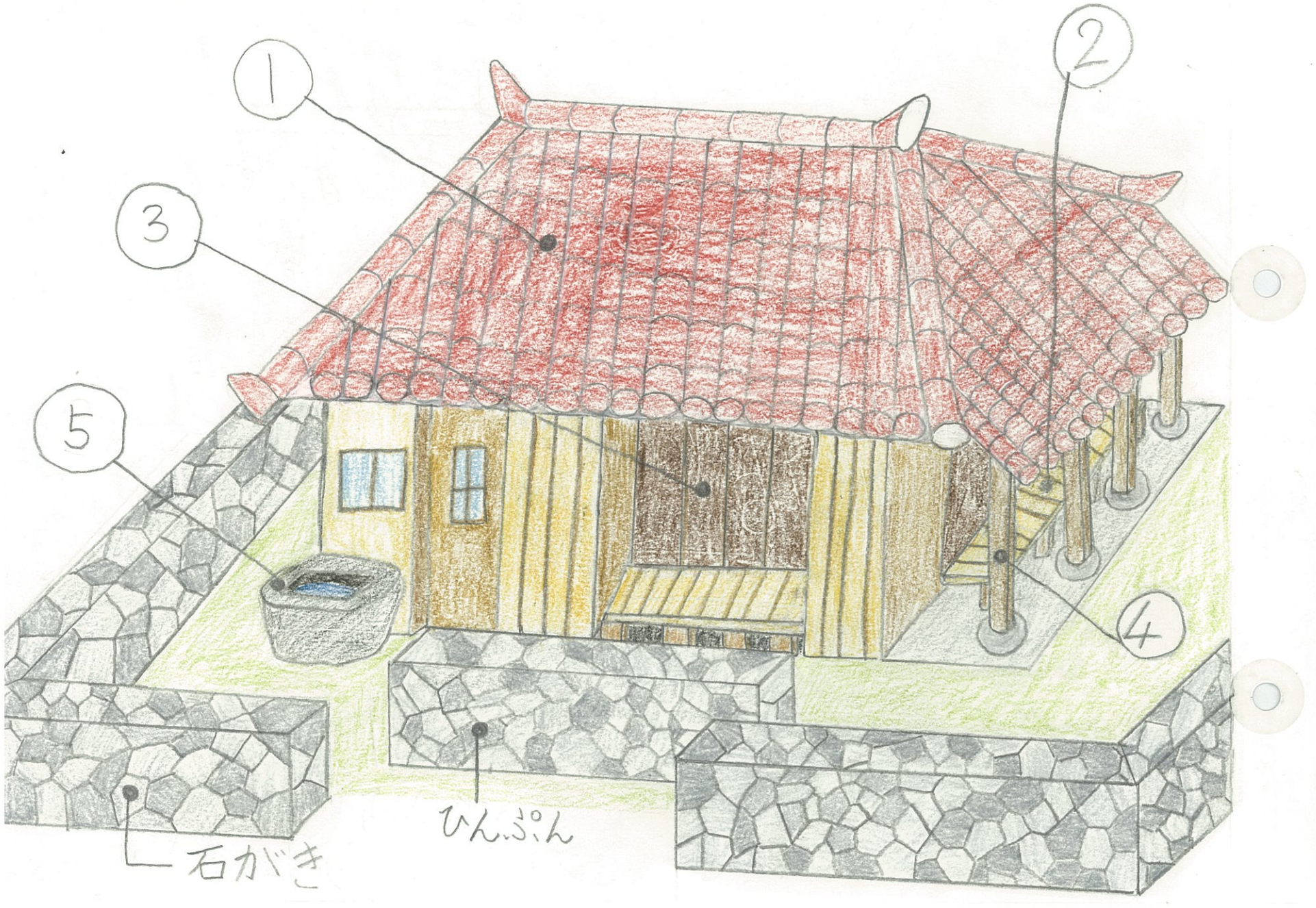
(イ)おきなわけん(おきなわじま)の家のエふう

年間を通してあたたかく、台風が年に何度もやってくるおきなわけんでは、古くからすまいにエふうがされてきた。

A.おきなわけんのでんとうてきな家

でんとうてきな家は、台風のえいきょうを少しでもうけにくくするために、平屋(1かいだて)になっている。

〈おきなわじまのでんとうてきな家〉



① 屋根

屋根は台風のひがいをさい小げんにおさえるためになだらかにかたむいている。かわらは重く、かわら同しはねん土と石かいをまぜた白いしっくいでとめられて、強風でとばされないようにしてある。

まよけのシーサーがおかれていることもある。

② 雨はじ

室内に雨や風などがはいらないようにつくられた空間。のき下をのばすことで、直しゃ日光もさけている。

③ 戸口

高い気温やしつ度をしのぐため、戸口を広くとって家の中の風通しをよくしている。

④ 木ざい

チャーギ(イヌマキ)というかたくて白アリに強い木をつかっている。ゆか下の通風をよくして、しっけがこもらないようにしている。

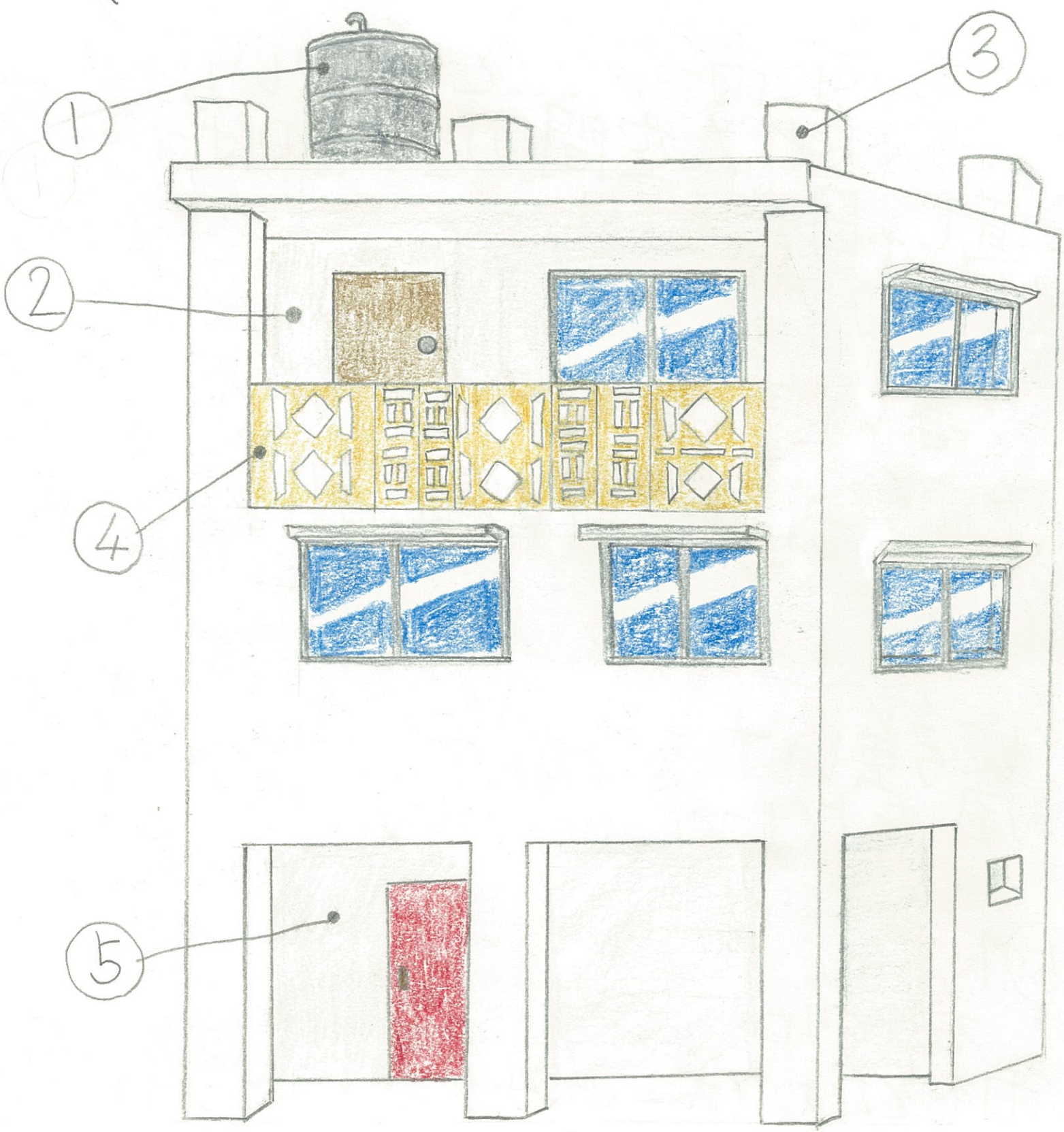
⑤ トゥージ

石をくりぬいた水がめ。むかしは、かく家で雨水をためておき、のみ水などにつかっていた。

B. おきなわけんのげんざいの家

おきなわけんでは、げんざいは平らな屋根のてっきんコンクリートじゅうたくが主流となっている。これは、太平洋せんそう後におきなわをせんりょうしたアメリカぐんのじゅうたくからえいきょうをうけたもので、台風やそう音に強いといったとくちょうがある。

〈おきなわじまの近代てきな家〉



① ちょ水タンク
　水ぶ足によるだん水にそなえて、屋上にちょ水タンクをせっちする。

② 空中テラス
　屋根つきのテラス、またはバルコニー。むかしのひんぷんのつらにあったアシビナー(遊び庭)が立体てきに組み上がったようなもの。

③ 角出しじゅうたく
　しょう来のぞうちくを見すえて、てっきんのつなぎにひつような長さの分を考えて角(はしら)をのこしておく。平屋のコンクリートじゅうたくの屋根に多く見られる。

④ 花ブロック
　アメリカがもちこんだけんちく部ざいさまざまなもようのあなの空いたコンクリートブロックをつみ上げて、にっしゃをふせぎつつ風を通し、目かくしのやく目もはたす。

⑤ ピロティ
　はしらで1かいをもち上げたこうぞう。主にちゅう車上場になる。

(ウ)おきなわけんの家のまわりのエふう

・石がき(P.18の図)
　石かい岩や石、サンゴなどをつみ上げてつくった石がき。強風からしっかりと家をまもる。

・ひんぷん(P.18の図)
　風よけと目かくしのためにおかれたかべ。まよけの意味もある。

・フクギ
　ぼう風林としてみん家の家のまわりなどに木植えられることが多い。

(2)-2.その他のあたたかい土地の家のエふう

　おきなわけんとかごしまけんのしまを合わせて「南西しょとう」とよぶ。南西しょとうの気こうはにているので、平屋だてや石がきなど、家のエふうもにているところがある。
　東京の南にある「小がさわらしょとう」も気こうはにているが、本やインターネットでは家のエふうはわからなかった。

(3)日本の高い土地の家づくり

日本は平地がせまく、国土のおよそ4分の3が山地だ。

山の高さのことをひょう高という。ひょう高が高くなると、気温はひくくなる。また、交通のべんがわるいところが多くなる。

しかし、かんきょうにてきした作物をそだてたり、森林しげんを利用したり、かん光をおこなったりして、工ふうして生活がされている。

(3)－1.とくしまけんい谷地方の家の工ふう

(ア)い谷地方について

い谷地方(とくしまけん三よし市)は、四国山地のけわしい山と谷にかこまれていて、平らな土地が少ないため、家やはたけは山のしゃ面をけずってつくられている。

とくに、「おち合集らく」は、しゃ面にはりつくようにみん家がたてられている。2005年に、国の重ようでんとうてきけんぞう物ぐんほぞん地くにえらばれ、そのうつくしい

けいかんを守るため、三よし市がしんぞう牛肉のしゅっふく作ぎょうなどへの取り組みを行っている。おち合集らくの一番高いところのひょう高は800m級で、集らく内での高ていさは390mほどもある。

(イ)い谷地方の家のエ、ふう

い谷地方の家は、主屋を中心に、たてものがよこ一列にならんでいる。山のけいしゃ地を切りひらいた土地に家をたてるため、家の前の土地はせまく、後ろはすぐ山だからだ。

〈い谷地方の家〉



①主屋(母屋)

屋根はかやぶき(ススキ、ヨシ、チガヤなどのくき)、じゅうきょは木ぞうの平屋。さむいため、家の中にはいろりがせっちされている。トイレとふろは、家のタトにせっちされている。家の土かべをほごする「シャギ竹」とよばれるわり竹で外へきがおおわれている。主屋には、せたい主の家ぞくがすむ。

②いんきょ屋

年おいた両親や、せたい主の兄弟などがすむ。

③な屋

のう作ぎょうの道具や、家ざい道具などをしゅうのうしておくための小屋。

(ウ)い谷地方の家のまわりのエふう

・石がき(P.24の図)

山のしゃ面をけずって石がきをきずき、そこに家や田はたをつくった。

(3)-2. その他の高い土地の家のエふう

日本のやく4分の3が山地で、ひょう高が高い土地にも町や村はそんざいしているが、い谷地方いがいの地いきの家づくりは、かりた本やインターネットには文章で書かれていなかった。

かりた本の写真から、しま根けんのおく出雲(いずも)町と、和歌山けんのみなべ町は、い谷地方と同じように山をけずった平地に家をたてているように見えた。

(4)日本のひくい土地の家づくり

日本でひょう高が100mまでのひくい土地(国土のやく4分の1)にすんでいる人は、人口のおよそ80%である。広くて平らな土地では、のうぎょうもやりやすく、ビルなどもたてやすいことから、たくさんの人が集まっている。

日本には、海ばっゼロメートル地たい」とよばれる、ひょう高が平きん海面(しおのみち引きや気あつなどによってへん化する、海面の平きんの高さ)と同じかそれよりひくい土地いきがある。この土地いきでは、土場しょによっては川が人のすんでいる土地よりも高いところを流れている。大雨などで川がぞう水するとこう水がおこることもある。

(4)-1. 大分けん高田(たかた)わ中の家の工ふう

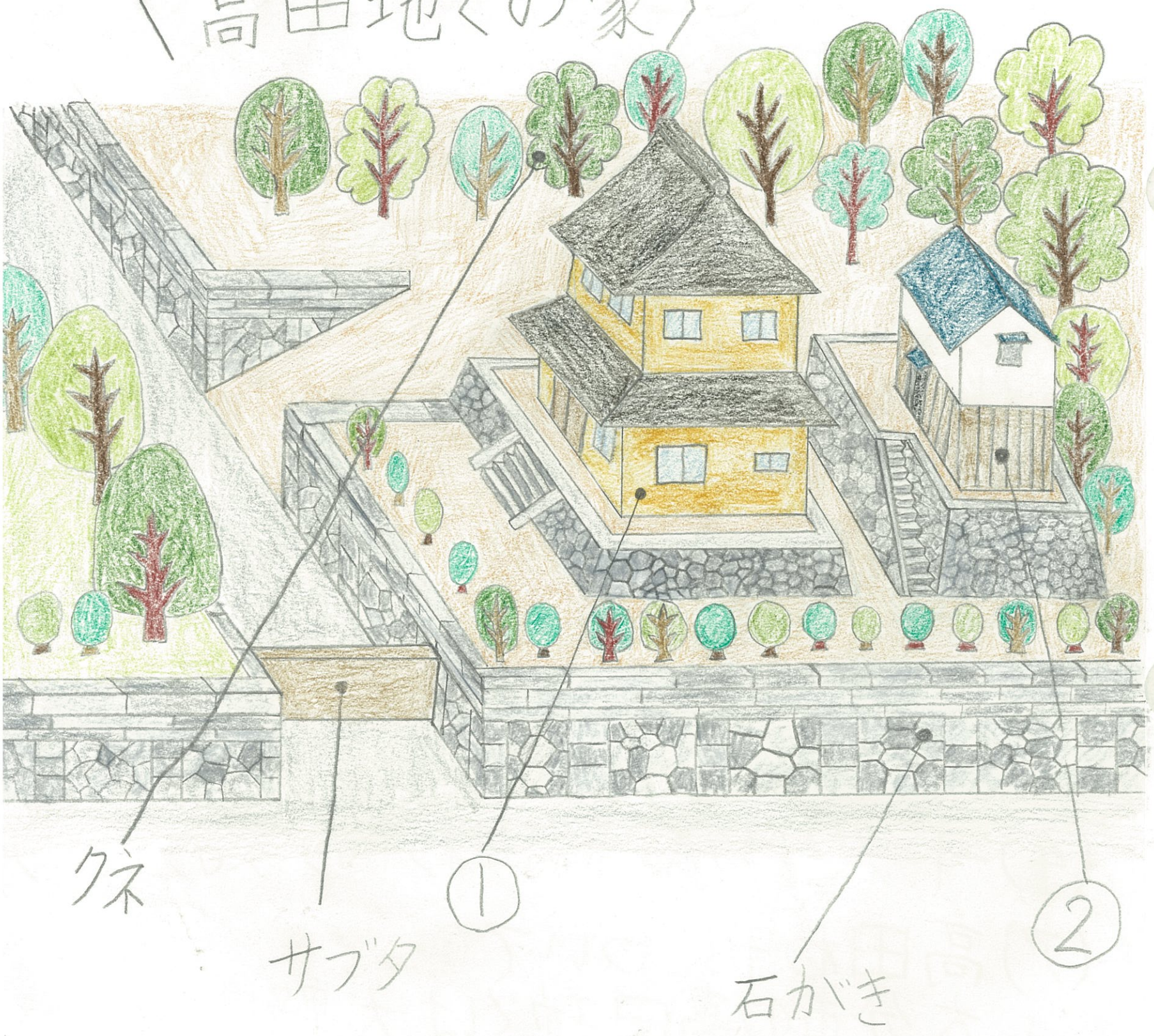
(ア)高田わ中について

大分市の高田地くは、大野川とおとづ川にかこまれた中すで、水がいたいさくのために、しゅういがていぼうによってかこまれているところが「高田わ中」である。土

土地がひくいので何度もこう水にあい、人びとはひがいを少なくするエふうをしながら、川とともにくらしてきた。

(イ)高田わ中の家の工ふう

〈高田地くの家〉



高田地くの人びとは、この土地ならではの方ほうで水がいにそなえてきた。

① 母屋（おもや）

母屋は2かいだてにし、1かいにはかべがない。水がおそってきたら、1かいの戸をはずして水のていこうを弱め、家が水に流されにくくした。かいだんははばが広くなっていて、いざという時に2かいへひなんしやすくした。

② 水屋

物しをちょぞうするくら。水屋は、母屋の石がきよりもさらに高い石がきの上にたて、生活ひっじゅ品の他、ひじょうのさいの食りょうなども保かんしていた。水がい発生時にだっ出するためのふねをそなえた家もあった。

(ウ) 高田わ中の家のまわりのエふう

・石がき（P.28の図）
　石をつんで高くした土地の上にさらに石がきをつみ上げて母屋や水屋をたてることで水がいにそなえた。
・サブタ（P.28の図）
　集らくの入り口のあたりには、むかい

あった家の石がきに高さ1mほどのみぞがきざまれているところがある。こう水がおこりそうになったら、そのみぞに「サブタ」とよばれるいたを道ろにすい直にはめこみ、集らくへの水や土しゃの流入をふせいだ。今は ろ面が高くなり、みぞの下の方は見えない。げんざいは、つかわれていない。

- クネ(P.28の図)

  家のしゅういをかこむ屋しき林。ムククス、竹、カエデ、ケヤキなどの木が何本も植えられていて、こう水がおきた時、木が水の流れを弱め、母屋や水屋が水に流されるのをふせいだ。

- ていぼう

  高田地く全体にていぼうがつくられ、かくしょに水門やひ門がもうけられている。ていぼうの外がわに木などを植えることで、ていぼう

を強化している。

・分流ぜき
　大里予川でふえた水をおとづ川に分けて流すためにせっちされた。後に、どう水ろもつくられた。

・雨水(すい)はい水ポンプ場・はい水き場
　1993年の水がいでけんの想ていい上に水いかが上がった場しょがあったので、大きぼなはい水ポンプをそなえた「雨水はい水ポンプ場」や「はい水き場」がせっちされた。

・ぼうさいステーション
　びちく品や、ていぼうを守るための道具などを保かん。しき地には、ヘリポートがある。

・かんしカメラ・しん水感知センサー
　川を見はるためのかんしカメラや、しん水をすぐに感知するセンサーをせっちしている。

(4)-2.その他のひくい土地の家の工ふう

川の下流部にあるひくい土地は、むかしは何度も水がいにおやまされてきた。人びとはくらしを守るために「治水」(水をおさめ、水によるひがいをさい小げんにすること)の方ほうを考え、きょう力することで水がいをおさえてきた。

集らくのまわりをていぼうでかこんだ「わ中(わ中てい)」は、高田わ中の他にも、日本かく地にある。ぎふけん高すわ中の家は、高田わ中とよくにたたて方で、家のまわりの工ふうもにている。

家のまわりの工ふうで、高田わ中とはちがう治水方ほうを記す。

・遊水地(かな川けんさかい川遊水地公園)

「遊水地」とは、川の近くに用意した広い土地。川の水がふえすぎた時、一部ひくくしてあるていぼ

うから水をひきこんでため、川の水りょうをへらす。
さかい川遊水地公園は、ふ、だんは公園、テニスコート、少年野きゅう場、夕目てきグラウンドとして活用されている。

- 治水ダム（新かがたけん加治川治水ダム）
「ダム」は、川の上流で水をせきとめて、流れる水のりょうをちょうせいする。発電や治水、り水（のうぎょうや工ぎょうにつかったり、水道用水などにり用）などのためにつくられる、高さが15m以上のものをいう。
加治川治水ダムは、治水のためにつくられた、全国でもめずらしいぼうさいせん用ダム。ふ、だんはからっぽで、こう水調せついがいに水をためることはなく、ダムに流れてくる水はそのまま川に流している。

5.研究から考えたこと

(1)さむい土地(北海道)とあたたかい土地(おきなわけん)の家づくりについて(研究前の予想と実さいのひかく)

(1)ー1.北海道の家のひかく

北海道の夏と冬の気こう予想は、思っていたことと近かった。

家の予想と実さいを表にまとめると、次のようになった。

〈北海道の家の予想と実さい〉

	予想	実さい
こうぞう	木ぞう	木ぞう
屋根	先がとがっている(雪たいさく)	かるいトタン屋根 角度のついた屋根、同じ方こうに傾いた屋根、雪をとかすしくみの平らな屋根(雪たいさく)
かべ	木のかべが二重(さむさたいさく)	だんねつざい(さむさたいさく)
ゆか	コンクリートでぶあつい(雪たいさく)	パネルヒーター(さむさたいさく) 大がたとうゆタンク(さむさたいさく)
まど	少なく小さい(さむさたいさく)	二重サッシ(さむさたいさく)
げんかん		げんかんフード(さむさたいさく)
水道		ふとう水ぬきせん(さむさたいさく)

北海道の家の予想と実さいをくらべてみて、思っていたよりももっとたくさ

んのエふうがあることがわかった。

雪のたいさくでは、屋根に雪がたまらないようにするエふうがいろいろあって面白かった。さむさたいさくでは、かべのだんねつざいとまどの二重サッシでさむさから家を守るエふうと、水道かんがはれつしないエふうがよく考えられていると思った。これらのエふうがあるから、雪がふってもさむくても、家も人もたえられるとわかった。

(1)-2. おきなわけんの家のひかく

おきなわけんの気こう予想も、思っていたことと近かった。

おきなわけんの家は、でんとうてきな家と近だいてきな家を調べたので、二つとも予想とひかくしてみる。

〈おきなわけんの家の予想と実さい〉

	予想	でんとうてきな家	近代てきな家
こうぞう	木ぞう	木ぞう平屋だて	てっきんコンクリート
屋根	角度なだらか、 地面近くまである(台風たいさく)	なだらかなかたむき(台風たいさく) かわらは重く、しっくいでとめる(台風たいさく)	角出し(ぞうちくたいさく)
かべ	木のかべが三重(台風たいさく)	チャーギ(白アリたいさく)	テラスなどのかべに花ブロック(あつさたいさく)

	予想	でんとうてきな家	近代てきな家
ゆか	いたが二重（あつさたいさく）	チャーギ（しっけたいさく）	
まど	大きくてたくさん（あつさたいさく）		
げんかん		戸口を広くとる（あつさ、しっけたいさく）	ピロティ（主に駐車場）
テラス		雨はじ（あつさたいさく）	空中テラス（あつさたいさく）
水道		トゥージ（水ぶ足たいさく）	ちょ水タンク（水ぶ足たいさく）

おきなわけんの家の予想と実さいをくらべてみて、予想とでんとうてきな家のこうぞうと屋根の形は近かった。

でんとうてきな家と近だいてきな家は、見た目は全ぜんちがったが、工ふうはにていて、台風とあっさたいさく、水ぶ足へのたいさくが、むかしも今も行われていた。むかしの人が考えた工ふうを、今につないできたからだと思った。

てっきんコンクリートじゅうたくになって、2かいい上たてられるようになった。また、角出しで後から2かいをたてられることも大きなへん化だ。角出しは、おきなわけんだけではなく、どこでもつかえる工ふうだと思った。

(2) 高い土地とひくい土地の家づくりについて

(2)ー1. 高い土地(い谷地方)の家を調べて

い谷地方の家のエふうでいんしょうにのこったのは、土かべをほごするためにヒシャギケ竹がまいてあることだ。本の写真で見た家のヒシャギ竹は、と中で色がかわっていて、古くなった竹を新しい竹と入れかえたのかもしれないと思った。

い谷地方では、むかしからの風けいを守るために、むかしにたてた家をむかしのぎじゅつに今のぎじゅつを取り入れて、直しながらすみつづけていることがすごいと思った。

山をけずったところに石がきをきずくのも、思いつかなかった。家の土台もしっかりしていないと、上にたてた家がこわれてしまうから、石がきなどの工ふうも大切だ。

(2)-2. ひくい土地(高田わ中)の家を調べて

高田わ中の家のエふうで、水がいの時に、母屋がーかいに水を通してしまうことにおどろいた。また、母屋のかいだんが広かったり、水屋がさらに高い石がきの上にたっていたり、サブタをはめたり、命を守るエふうに感心した。

家のまわりのエふうを調べて治水のしくみがわかり、人や家を守るのに大切なことがわかった。

家のエふうと地いきの治水のエふうのどちらもないと、家や命を守れないことに気づいた。

(3)わたしの家

(3)－1.わたしの家と八王子市

わたしの家は、東京都の八王子市にある。今まで調べた家づくりの工ふうと、わたしのすんでいる町の気こうととくちょうから、どんな家がよいのか、今すんでいる家はそれと合っているのかを考えてみることにした。

〈八王子市の気こう・地いきのとくちょうとわたしの家の工ふう〉

	八王子市の気こうととくちょう	わたしの家の工ふう
気温(2021年)	さい高　39.0℃(8月) 夏はあつい。	だんねつざい エアコン オーニングで日かげをつくる。
	さいてい　-6.3℃(1月) 冬はさむい。	だんねつざい ガスファンヒーター(せん用のガスかん) まどのペアガラス
こう水りょう	東京の中では、雪は多い方。	屋根の雪止め あしつきカーポート
町のひょう高	やく80m～400m。 すんでいる町は80m台。	高めのきそ さかを活かしたげんかんの高さ
か川	たま川とあさ川が流れており、たま川が近い。 町内で水がいたいさくいいん会が活動している。	

表にしてくらべてみて、わたしの家にも様ざまな工ふうがあることに気がつくことができた。そしてわたしの家が八王子市の気こうや土地いきのとくちょうに合わせて工ふうされていることがわかった。このような工ふうがあるから、安心してくらすことができていたのだ。



写真1.
オーニング



写真2.
あしつきカーポート
高いきそとけんかん

(3)-2.わたしの家とわたしの家ぞく

わたしの家には、家ぞくのとくちょうに合わせた部屋がある。〈わたしの家ぞくのとくちょうとわたしの家のエふう〉

わたしの家族のとくちょう	わたしの家のエふう
スギ・ヒノキアレルギーがいる。	ベランダをつくらず、部屋ぼし室をつくる。 かべとゆかは、水に強いそざい。 まどが大きい。
楽器をひく。	ぼう音室をつくる(だんねつざい、ぼう音とびら)。 ピアノ用にゆかのほ強をしている。 コンセントをたくさんつける。

部屋ぼし室があることで、花ふんの季せつでも安心してふくがきられたり、ふとんでねむったりできる。ぼう音室があることで、部屋の外にきこえる音を小さくすることができ、安心して楽きがひける。家ぞくのとくちょうに合わせた家づくりも、安心してくらすためには大切だとわかった。



写真3.
部屋ぼし室

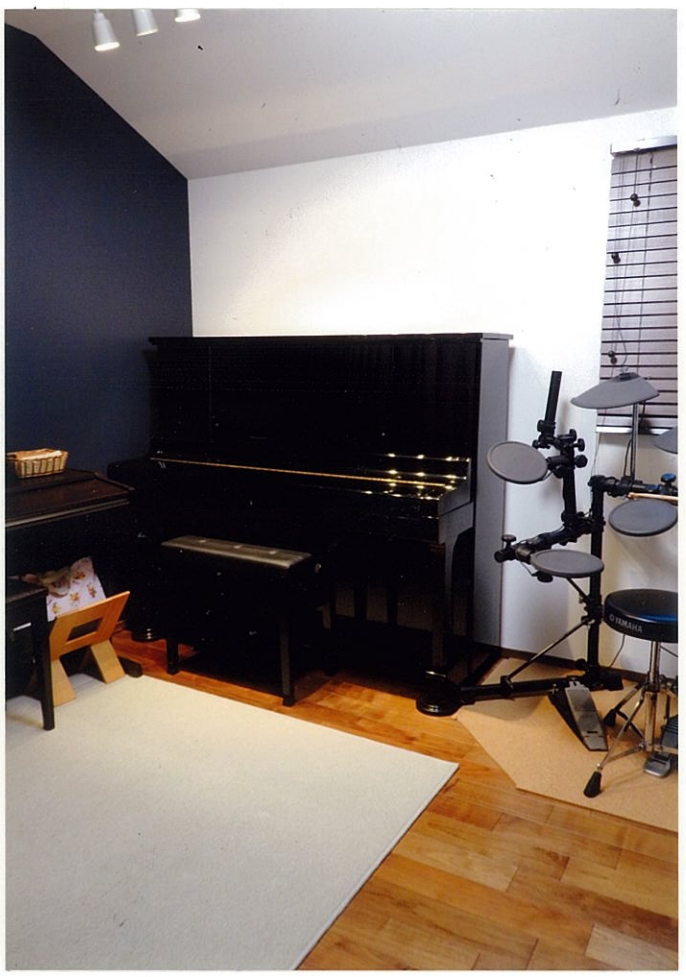


写真4.
ぼう音室

6.まとめと感想

この石井究で、地いきのとくちょうにあわせた家づくりの考え方がわかった。また、家をつくるためには、家や人を守るための地いきのたいさくも知ることがひつようだとわかった。さらに、古くからつたえられてきた家づくりのエふうやぎじゅつを守り続けていくことと、新しいぎじゅつで新しいエふうを取り入れることのどちらも大ち刀だと知った。

これらと合わせて、すむ人のとくちょうを知って家づくりにとり入れることも、すむ人がもっとべんりで安心してくらすためにはかかせない。

家のこうぞうを考えるのはけんちくしのし事で、せっ計された家をたてるのは、大工や家づくりにかかわるし事をする人たちだ。地いきや人のとくちょ

うに合わせた家をせっ計するには、調べることがたくさんあって大へんだと思う。そして、せっ計された通りに、様ざまな知しきやぎじゅつで家をたてる大工たちも大へんだと思った。

わたしは大工になりたいが大へんさがわかって少しふ安になった。でもその不安を乗りこえて、りっぱな大工になろうと思う。

・写真さつえい日・さつえい者

8月24日　まつおか のぞみ(母)

参考・引用文献リスト

作品名：「大工さんも大へん」
名前：まつおか 直

書名	著者名	出版社名	出版年
わたしたちのくらしと国土[1] ひくい土地のくらし	井田よしやす/かんしゅう	金の星社	2019年
わたしたちのくらしと国土[2] 高い土地のくらし	井田よしやす/かんしゅう	金の星社	2019年
わたしたちのくらしと国土[3] あたたかい土地のくらし	井田よしやす/かんしゅう	金の星社	2019年
わたしたちのくらしと国土[4] さむい土地のくらし	井田よしやす/かんしゅう	金の星社	2019年
わたしたちのくらしと国土[5] 雨・雪が多い土地のくらし	井田よしやす/かんしゅう	金の星社	2019年
日本の国土とくらし2 あたたかい土地の人びとのくらし	千葉のぼる/かんしゅう・しどう よし田ただまさ/文・写真	ポプラ社	2011年
日本の国土とくらし6 さむい土地の人びとのくらし	千葉のぼる/かんしゅう・しどう わたなべかずお/文・写真	ポプラ社	2011年
おきなわまるごと大百科1 おきなわの自然	みやぎつとむ/かんしゅう わたなべかずお/文・写真	ポプラ社	2005年
おきなわまるごと大百科2 おきなわの自然	うえずひとし/かんしゅう よし田ただまさ/文・写真	ポプラ社	2005年
オキナワの家	いれい さとし	インデックスコミュニケーションズ	2004年
せかいあちこちゆかいな家めぐり	ふまつよしお/かんしゅう 西山あきら/絵	ふく音館書店	2004年

- り用した図書館
  八王子市中おう図書館
  石川市みんセンター図書館

- **参考Webページ**

作品名：「大工さんも大へん」
名前：まつおか　直

Webページ名	URL	アクセス年月日
NHK for School 北海道の家のエふう　～さむい土地のくらし～	https://www.nhk.or.jp/school/keyword/?kw=%E5%8C%97%E6%B5%B7%E9%81%93&cat=all&from=1&sort=ranking	2022年8月16日
十かちかん光れんめい公式サイト「とかち晴れ」 とかちの気こう	https://tokachibare.jp/about tokachi/weather	2022年8月17日
おきなわけん公式ホームページ りとうのがいきょうについて	https://www.pref.okinawa.jp/site/kikaku/chiikiritto/ritoshinko/ritou-gaikyou.html	2022年8月17日
NHK for School ひくい土地のとくちょうとくらし	https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das id=D0005120432 00000	2022年8月18日
ないかくふぼうさいじょうほうのページ とく集　大雪にそなえる	https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/h24/69/special 01.html	2022年8月19日
三よし市教育いいん会 三よし市れきしてきふうちいじこう上計画	http://www.miyoshi.ed.jp/docs/2014073000117/file contents/rekimachihenkounintei.pdf	2002年8月20日
かな川けん公園きょう会 かんがわけん立さかい川遊水地公園	http://kanagawa-park.or.jp/sakaigawa/	2022年8月21日
にいがたけんホームページ かじ川治水ダムのごあんない	https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shibata seibi/damu-k.html	2022年8月22日
八王子市公式ホームページ 八王子市のがいよう	https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/002/002/p006163.html#:~:text=	2022年8月22日
ミツカン　水の文化センター 第14回里川文化じゅく 大く保長安・八王子の治水とまちづくり	https://www.mizu.gr.jp/bunkajuku/houkoku/014 20130907 nagayasu.html	2022年8月22日
八王子市公式ホームページ 八王子市のそうごうてきな治水たいさく	https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/life/002/004/006/p006607 d/fil/sogochisui.pdf	2022年8月22日
気しょうちょう 八王子　2021年（月ごとのあたい）　主なようそ	https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/monthly a1.php?prec no=44&block no=0366&year=2021&month=&day=&view=p1	2022年8月23日
ひょう高海ばつナビ 八王子市のひょう高/海抜ばつ	https://www.hyoukou-ichiran.com/tag/	2002年8月23日

〈この研究で調べた地いき〉

